

あいあいあい



2012年1月9日号

生活協同組合
COOP あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒993-0035 仙台市宮城野区日の出3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.mamma.coop

花巻寿司のレンジ付



7 内海求商店
レンジ付・徳用キズ焼きのり

10枚×5袋 951円(税込998円)

多少キズがあるだけで味は変わらない松島産の良質のり。3月の大津波の被害を幸運にも免れた2010年産原料在庫を使用しています。

◎300日
1月4回まなま通信表紙掲載



『レンジ付・徳用キズ焼きのり』

みちのく寒流海苔の安全安心を守り、被災地の再生を成し遂げます!

あの大地震と大津波から9ヶ月が経過し、徐々に生産体制が整ってきました。幸いにも津波の被害を免れた震災前収穫の原料海苔を大切に使用し、本年度内は何とか切らさずに供給できそうです。沢山の組合員の皆様が「焼きのり」を買ってくださっていることが何よりの励みになっています。さて、今年の新海苔の状況はというと生産者の多くが被災しているため、生産量は例年の1/4(75%減)程になると予想されます。また、放射能の影響が最も心配されます。生産量の減少に加え放射能への不安と、生産復興、地域再生への道のりはまだまだ困難がありますが、製品の放射能検査をしっかり行い、日本を代表する宮城県産みちのく寒流海苔の安全安心を守ることによって被災地域の再生を応援していきましょう!

2012年 新年に寄せて

明けましておめでとうございます。

皆様どんなお正月をお迎えでしょうか?家族そろって食卓を囲める幸せを、改めて感じられたお正月かもしれませんね。

昨3月11日の大地震と大津波、そして福島原発事故を体験したことで、私達の暮らしは変わりました。多くの命が失われ、多くの人が家や仕事、故郷を失いました。そしてまた福島原発事故により、日本は世界中の空や山や海を放射能で汚染しました。

地震や津波は自然の営みですが、福島原発事故は、自然への敬意を忘れ、利益追求第一に金の力で何でもできると驕り高ぶった、あまりにも重大な結果です。

政財界、マスコミ挙げての、原発事故情報の隠ぺい矮小化は止まる所がありません。まだ事故の全貌すらはっきりしないのに、あたかも収束したかのような幻想をふりまいています。「大本営発表」に惑わされず、福島原発事故をけっして風化させず、責任者の処罰と被害への全面補償を要求しましょう。そして同時に原子力発電からの即時撤退も要求しましょう。原発なしでも電気は十分足りています。きれいな空気、きれいな水、きれいな大地、そして多くの命、大切なものと引き換えの電気など要りません。

「テラベクレル」などという、想像を超えた天文学的単位で量られる放射能汚染は、その数値の過大さや、汚染が見えないことで現実感に乏しく「嫌なこと不安なことは避けて通る」人間の本性と相俟って、多くの人々が何事もなかったように「ただちに健

生協あいコープみやぎ理事長 吉武洋子

康に影響はない」生活を送っています。そして原発事故に責任を負う東京電力や行政、マスコミや御用学者は、環境汚染食物汚染を心配する人々に「過剰反応」「風評被害」のレッテルを張り、汚染の広がり被害の実態を見ようとしません。原発の安全神話を広め、原発に反対する人々に「原発が嫌なら電気を使うな」と嘲ったそのままのやり口で。

福島原発事故を引き起こしたのは地震や津波ではないことを、私達は決して忘れてはなりません。外部電源を失う事態を想定した安全対策せず、経済最優先で利益追求し、予防原則を守らず安全第一を怠った結果が、外部電源を全て失い炉心溶融(メルトダウン)という大事故になりました。

2012年、私たち一人ひとりが3.11の意味を問い直すことからスタートだと思っています。3.11に何が起き、その結果なにが変わったのか、変わらなかったのか、自分はどうか対処したのか、もう一度問い直し見つめ直し考え直すことだと思います。

言を左右してメルトダウンを認めなかった国や東京電力が、やっとメルトダウンを認めたのは事故後2カ月、周到な情報隠しと誘導で国民の関心を原発事故から逸らし薄めた後のことでした。

2012年、あい(I)あい(Love)あい(Eye)人と自分を大切に自分自身で判断し行動しましょう。原発のない世界に向かって共に歩きましょう。

あいコープカレンダー (2月16日現在)

◎ 組合員交流会 ◎

2月は組合員交流会が各地区で開催!
今年も組合員同志で楽しく真剣に
あいコープの事を話し合います。
詳しくは各地区のお便りをご覧ください
申し込みはくろふいね。

3/12(月) 委員オリエンテーション

場所: 福祉プラザ
時間: 10:00~12:00

6/21(木) 総代会

場所: エル・パーク仙台ギャラリホール
時間: 9:45~

脱原発世界会議

日時: 2012年1月14日(土)~15日(日)
場所: 103フィコ横浜
主催: 脱原発世界会議実行委員会
あいコープみやぎがブース出展します!
会場各所東北の生協 あいコープみやぎ(こにこあい)も
◎ お問い合わせ先 あいコープみやぎ TEL 0120-255-0444 門番

放射能汚染食品の安全性を 考えるフォーラム

日時: 2012年1月16日(月) 10:00~12:30
場所: フォレスト第1ホール フォレストビル2F
主催: 消費者行政の充実強化を求めた市民の会
仙台市行政委員会

お問い合わせ先: 宮城県生活協同組合連合会
Tel: 022-276-5162 Fax: 022-276-5160

2012年

新年にかける抱負

あいほろ共生会(あいほろ福祉協会の協議会)
会長 高橋英雄

新年明けましておめでとうございます。す...とは言えない状況が続いています。

新年早々でこんな内容から書き始めることは迷いましたが、残念ながらいつもの正月や新年を迎えることが出来ないのです。

一方、被災した地域と被災していない、しかも遠い地域とではいわゆる温度差が生じています。自分自身にも忘れてしまいたいことと忘れてはならないこと忘れられないことが混在しています。

震災後 9 週間の避難所や土日もないヘドロやガレキ片付けが続いて「分かった!」「気づいた!」と思ったことが沢山あったはずなのに 9 ヶ月過ぎた今正直分からなくなります。言葉に出来ない悩ましさ。

被災者としては、ただただ3.11の前に戻りたいだけなのかも知れませんが、家庭があり家があり仕事があり見慣れた風景がある、買い物も遊びも友人達も趣味も震災前にあったように。嫌なこともうれしい事もささやかかも知れませんが未来も見えていました。心の平穏、幸せは、もしかしたらあんな日常にあったのかも知れません。

しかし現実には惨い傷跡を残して心には深く重い何かを残してしまいました。

それぞれの3.11がそこここにありますが。放射能に苛まれている人も居る、こんな犠牲を払い続けているのに反省しない日本人。

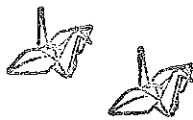
とは言え未来を見ていかねばなりません、どんなに見えなくとも自棄になりながらも未来を考えねばなりません。

行動しなくては、少しでも一歩でも動かななくては、重荷を引きずっても前に行かなくては座り込み膝を抱え目を閉じてしまうから。

生きてて良かったあ〜と涙を浮かべて自分のことの様に喜んでいただいたあの方の方、ヘドロにまみれ一心に片付け支援をして後ろから押してくれた皆さん。支えて支えられ、支えあって生きている、お互いにだ。支えられる人がしっかり受け止めねば支えあいには成り立たない。支える人は支えられる人のことを一生懸命考えなくては支えたことにならない。そして支えあう仲間になろう。苦しくても支えることで相手の喜びを頂こう。

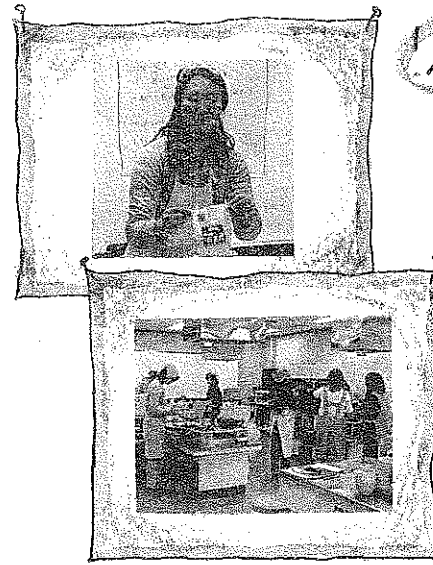
小さいは大きい。小さな支えが大きな力になった。弱い強い。弱い力が大きく流れを作った。そして私達は心ある生産者になり支えあうことの素晴らしさを伝えよう。

ささやかな幸せは、みんなが支え合っていたからを忘れないようにしよう。もっと強い心の支えあいをもっと素敵に「仲間」を作りたい、新しい明日は自分たちで作っていこう、仲間がいるから。変わるかも知れない。



◎特集

2011年 秋のぶんぶんフォーラム報告 VOL.2
「新米であいごげん」



1/29(火) 青葉B地区: 青年文化センター

◎ 秋のぶんぶんフォーラム in 青葉Bは、地区委員を含め24人の参加となり、にぎやかな集まりとなりました。今年のテーマに沿って、三五八漬の素を使った、免殺カーブの和定食仕立てのランチを楽しみました。日頃気になっていることやそれぞれのお勧めのあいごげんと商品、食べ方について、和気あいあいと情報交換ができました。
青葉B地区委員 梅原香織

1/15(火) 29(火) 石巻地区: 本草園会館・若葉集会所

◎ 石巻は、2箇所で行いましたが、地区委員以外の参加は3人に終わりました。会場も集まり慣れた所ではなかった事や、組合員の生活がまだ震災前は大きく乖離していることに起因していると考えます。しかし、地区委員も、一人の組合員として、あいごげんの姿勢をしっかりと再認識できる良い機会となりました。2月13日は企画の組合員交流会には、もっとたくさんの組合員参加が得られるよう、委員力を合わせて臨みたいと思います。
石巻地区担当理事 工藤 恭子

原発はいりません! みんなの声を集めてパワ-に

福島原発事故により、原発の安全神話は崩れました。放射能汚染をよしとする人はいないと思います。それでも尚、「電気や経済発展のために原発稼働を」「原発輸出を」というのは、なぜでしょうか。

3.11で女川原発は、外部電源が無事だったのは5本の内1本のみで危機一髪でした。未来の子供達のためにも再稼働はさせてはなりません。

脱原発委員会では、委員学習を重ね、地区と連携して「ぶんぶんカフェ」や2月組合員交流会で「出前講座」を開催します。また、横浜での「脱原発世界会議に出展」します。身近な放射能問題だけでなく、エネルギーの地産地消、女川や全国の原発状況なども学んでツールを作りお伝えしていきます。

脱原発の声をあげましょう。1000万人アクション署名は2月28日まで集めています。みんなの声のパワ-になります。

子どもたちの未来のために脱原発を進める委員会 理事 鈴木智子